

# な ず き 介護者だより

事務局：泉南市社会福祉協議会 TEL 482-1027 泉南市樽井1丁目8-47

## 新年会



一月九日、宵戎の雅楽が街に流れる中、新年会が、あいぴあ泉南で開かれま

した。一時半からの演芸会には、泉佐野ワークショッ

プ・林家染左一門から、三人の方が来てくれました。初めは 夢見亭老止女さんの落語です。

和服姿の老止女さんが高座に上がってきました。

子は銚（かすがい）

大工の親方には、三年前

に別れた嫁さんとの間に、今年九つになる亀吉がいる。別れたきり、会ったこと

とがない。ある日、材木を見に行こうと通りを歩いていて、親方は驚いた。

亀吉、おい亀吉。亀、

亀、亀吉。あつ、お父ちゃん。

大つきいになったなあ。お父ちゃんに可愛がつてもうてるか。

お父ちゃん、おかしなことというなあ。お父ちゃんなんていやへんやないか。

そりや、お前が知らんだけのことで、夜中に男の人がお母ちゃん所へ来て

いるんや。あなの、家は畳三枚だけで回りに物をおいたら、真ん中に布団一枚しか敷

かれへんのや。お母ちゃんと二人か。そうか。お父ちゃんのこと

と、なんか言うてるか。酒さえ飲まへんかったら、ええ人や言うてた。

そんなこと、言うてたか。亀吉、手え出せ。

小遣いやるわ。

こがいにぎょうさん！おおきに。

それからなあ、明日うなぎ食べにいこか。お母ちゃんには、このこと、黙ってるんやで。

さて、家に帰った亀吉、母親に問い詰められて、今日の出来事を全部話して

しまいます。翌日、亀吉を送り出してから、母親は化粧も念入りに、うなぎやの前を行ったり来たり。いつしか、店の中へ。

あつ、お母ちゃんや。はよう、はよう、おいで。お父ちゃんも、お母ちゃんを呼んでえな。

どこのお方かは存じませぬが、昨日はこの子に小遣いをたくさんいただ

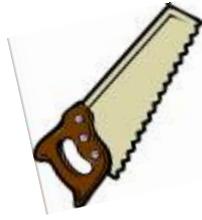
き、また今日ほうなぎをこ馳走になり、ありがとうござ

います。お母ちゃん、お父ちゃんやないか。

この子をここまで育ててくれて、ほんまにおおきに。札を言う。今更、こんなことを言えた義理でもないが、どうや、もういっぺん、三人で暮そうやないか。

いつも思うのはこの子の行く末の事。そうできたら、私も嬉しおます。子は銚というのは、ほんまですなあ。あつ、そうか。そいでお母ちゃん、昨日わいの頭を金づちで打とうとしたんか。 「子は銚」—— 今はどうでしょうか。そうあつてほしいものです。 舞台は変わって、川之かえるさんです。のこぎりで、「愛の讃歌」の演奏。なんと不思議な、澄んだ音色なんでしょう。のこぎり演奏といえば、横山ホツ

トブラザーズの「おまえはあほか」しか知りませんでした。でも、のこぎり演奏は「お笑いの遊び」ではなく、ちゃんとした楽器で、世界中にその演奏家がいるのだそうですよ。ノコギリは西洋ノコギリを使います。持ち手を両足で挟んで、刃を曲げながら弦で音を出します。弦は一万四五千円もするそうですが、川乃さんは淡竹と百均のテグスで、自分で作ったそうです。代用品とはいえ、いい音色です。



つづいての曲は♪「夕焼け小焼け」「もみじ」「ふるさと」  
施設の利用者さんがいっしょに口ずさんでいました。

かえるさんの得意芸は、のこぎり演奏だけではありません。マジックも見事です。ネクタイを、司会の平中さんに半分に切ってもら

い、(そのままかな)と思わし  
ておいて、元に戻して出してき  
ました。



二つに分かれた箱の中にCD  
を入れ、右側へ左側へと移動さ  
せ、「インチキだ」と思った瞬  
間、「あっ！」CDが消えていま  
した。

ぬり絵に色がついたり、赤・  
黄・青のそれぞれに結んだはず  
のロープが一本になったり、い  
ろんなマジックを見せてくれ  
ましたが、一番びっくりしたの  
は、スプーン曲げ。絵に描いた  
スプーンが曲がりました。絵に  
は平中さんの書いたサインが  
確かにあったのにな？

トリは満腹亭楊枝さんの落  
語です。

満腹亭さんは高校の先生。授  
業を終えて駆けつけてくれま  
した。

### 時うどん



冬の寒い晩、利口な男と間抜け  
な男が屋台のうどんを食べます。  
二人の持ち金は合わせて十五文。  
うどんは十六文です。利口な男は、  
その金で一杯のうどんを分けて食  
おう、と策を練ります。うどんの  
食べ方が見せ場です。「フー、フー、  
フー、フー、ズツズツ、ズツズ  
ツ、んー、ズツズツ」  
「袖、引つ張るな。お前にも半  
分残してやるがな」と言いながら、  
利口な男はほとんど食べてしま  
う。

うどんを食べ終わり、勘定。「う  
どんや。細かいよって、手え出し  
てくれるか」「一つ二つ三つ四つ五  
つ六つ七つ八つ」「今、何時や？」  
「確か九つで」「十、十一、十二  
六と」「ありがとさんです」

間抜けな男は、同じことをしよ  
うと次の晩、うどんを食べに行き  
ました。うどんを食べ、勘定を払  
うまでは同じでした。

「いくでえ、一つ二つ三つ四  
つ五つ六つ七つ八つ」「うどん  
や今、何時や？」「へい、五つ  
で」「六つ七つ八つ・・・？」  
満腹亭さんは、袖を引つ張ら  
れて、座布団の上で一回転。若  
いからできる芸なのでしょう。

今年南さんが、おたふく豆  
であんころを作って持つてき  
てくれました。甘さ控えめのや  
さしい味でした。

それから、皆さんは気がつか  
れたでしょうか。舞台の上の大  
きな字幕は、前の羊年に、古谷  
さんが描いてくれた字幕です。  
誰かが言いました。  
「次の羊年にも使えるなあ」  
さあ、どうかな？



古谷 義信

# 今年は介護者(家族)の会結成20周年です。

皆さんの今年は・・・

ゆっくりでいいから、  
病人は本復してほし  
い。  
(松坂嘉治)

今年こそ、主人の人工  
呼吸器が外れますよう  
に！  
(佐藤淳子)

よく転ぶことがあります。遠出  
をするのが出来ません。姿勢  
も前かがみになっています。  
まっすぐ歩きたいです。  
(福本圭子)

息子に嫁がほしい。  
(南園枝)

元気になって、本気に  
なって、二人で日々の  
生活を楽しみたいと思  
います。(富本操子)

腰が治るように。  
リハビリ頑張ります。  
(長尾久子)

焦らず、急がず、  
おボケにならないよう  
に。  
(呉田英恵)

一年以上続いている首筋  
の痛みがなおりますよう  
に。  
(唐仁原久美子)

旅行に行きたい。  
元気な日々を送りたい。  
懐かしい友に会いたい。  
(浜本三津江)

明るくて健康な年である  
ように。  
(青木トシエ)

病気をせず、ケガをせ  
ず、元気な一年でありま  
すように。(土橋千鶴子)

ボケ防止のために  
好奇心を絶やさず、チャレンジする心  
を持ち続けたい。  
—例えば— 野に咲く花をみても、根  
っこはどうなっているのかと、何事に  
も関心を持つて考える。(平中博幸)

もう一度ハワイに行き  
たいです。(門雀政子)

もう少しグラウンドゴルフ  
が上手になるようにガン  
バります。(金永勝子)

足・腰がしつかりして  
ほしい。(横田松野)

今年も、禮子が食事を出来る  
ことと、僕がその介助を続け  
られる事を願う。  
(西浦主一)

# 第20回介護者(家族)の会総会

✿ 月日： 4月9日(木)

✿ 会場： あいびあ泉南 1階大会議室

第1部 総会 午後1時半～2時

第2部 WAO泉南 in 介護者(家族)の会!

午後2時10分～3時30分

講師 白井病院精神科医 田中敬剛先生

認知症サポート医 松本英一先生

応援 認知症に関わる専門職の方



## 高齢化社会と介護

初代会長 横田きよの

皆様方のご協力によりまして、平成八年三月十三日泉南介護者(家族)の会を結成することができました。

六五才以上の人口が、昭和二五年には四、九%だったのが、平成七年には十四、五%。平成二十年には二十%に達するだろうと言われております。超スピードで進む高齢化社会の中で、介護の問題は誰もが避けて通れない課題だと思います。

現在では、在宅サービスがある程度充実してきたとはいえず、まだまだ家族の負担は大きく、肉体的・精神的に疲れている人が多いのが現状です。

そこで私達は、同じ悩みを持つ者同士が集まり、一人で悩まない様、皆で手を取り合って、又関係機関の協力を頂き、よりよい介護を目指し、頑張りたいと思っております。



介護者だより創刊号(平成8年5月1日)より

### ㊦ つどい

3月13日(金) 午後1時半～3時半

あいびあ泉南2階 会議室2

### 男の介護「味彩の会」

3月6日(金) 午前11時～ 平野台の湯

### チョコボラ会

2月27日(金) 午前10時～11時半

おいでや!泉南

3月27日(金) 午後1時半～3時半

おいでや!泉南

### 編集後記

この会が結成された頃は「いつでも、どこでも、必要な時に必要なサービス」が合言葉の、福祉が開いた時期だった。それでも、デイサービスの利用を近所に知られたくない人も、まだ多くいた。今は介護保険の利用を少なくしよう、自助・互助・公助といわれている。だが、人として尊厳をもつて生きていくためには、公助・互助・自助の順番だと思う。(け)

訂正：71号の唐仁原さんの好きな言葉は「贈る言葉」の一節でした。